

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アバンツアーレスポーツもりおか		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・サッカー支援プログラムがあり、運動療育に特化している ・サッカー支援に参加できない利用者さんにはバルシューレ(ボール運動)をプログラムに取り入れている。	・従業員研修が定期的に行われており、統一されたプログラムを行っている。 ・利用者一人ひとりに合わせたプログラムを提供している。	・定期的な研修をしていく。 ・マニュアルを整備し新入社員でも運動療育の知識を習得できるようにしていく。
2	・定期的に会報誌やSNSで利用者さんの活動の様子を発信している。	・普段見られない活動の様子を定期的に発信している。 ・当事業所だけでなく、全国のアバンツアーレスポーツの活動を閲覧できるようにしている。	・保護者からの意見も参考にしイベント等に取り組み発信していく。
3	・保護者とのコミュニケーションが円滑にできており信頼関係が構築されている。	・送迎時や連絡帳にて情報共有をしている。電話での相談も随時受け付けており早急な対応を心がけている。	・保護者の不安感を軽減するためにも、イベントを通して保護者同士のコミュニティの充実を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所や認定こども園、幼稚園との交流や地域の中で他の子どもと活動する機会がほとんどない。	・交流イベントがない。	・交流イベントとして園に向いてサッカー支援プログラムやバルシューレを通常発達の子と一緒にできるよう企画していく。
2	・体育館の予約が取れなかった日で雨天時だった場合、活動スペースが狭くなってしまう。	・活発な利用者が多く活動範囲が広い。	・パーティションで区切ったり、知育遊びの幅を広げる。
3	・生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているが、支援室からトイレの中が見える構造になっている。	・構造上の問題。	・トイレと支援室の間にのれんなどをかける等対策をしていく。